第４章 目標及び具体的な事業

１ 目標及び事業メニューの設定

３つの方針に基づき、８つの目標を設定し、各目標の実現に向けて、14 の事業を実施します。

【方針】

方針１：公共交通のネットワークの再構築及び利便性の向上

広域アクセスに配慮しつつ、鉄道（JR 御殿場線）、高速バス、路線バス、タクシーなど様々な公共交通システムの機能を発揮できるよう、地域ニーズと効率性が両立した公共交通のネットワークの再構築及び利便性の向上を目指します。

方針２：公共交通の認知度の向上及び利用促進による利用者の増加

継続して地域公共交通の維持・充実を図るためには、公共交通マップ等による分かりやすい情報提供を行うことにより、市民等の公共交通に対する認知度を高めるとともに、観光振興や中心市街地活性化との連携・一体化を図った取組を実施するなど、市民や関係主体が一丸となって公共交通の利用を促進することにより、利用者の増加を目指します。

方針３：地域と一体となった移動手段の充実

高齢者等の移動支援策の充実を図るとともに、地域特性に応じた新たな公共交通システムの検討を行い、地域と一体となった移動手段の充実を目指します。

【目標】

- 目標１：鉄道の利便性の向上
- 目標２：乗継拠点の機能強化
- 目標３：バス・タクシーのネットワーク再構築・利便性の向上
- 目標４：バス・タクシーの安定的な運行の維持
- 目標５：公共交通に関する分かりやすい情報提供
- 目標６：関係主体の総力による公共交通の利用促進
- 目標７：交通弱者に対する移動支援策の充実
- 目標８：地域に合った移動手段の検討・導入

【事業メニュー】

- 事業１：JR 御殿場線利便性向上のための要望活動の実施
- 事業２：裾野駅・岩波駅の機能強化
- 事業３：既存バス路線の再編、ルート変更の検討・実施
- 事業４：地域旅客運送サービス継続事業の実施
- 事業５：データ利活用による利便性向上事業の実施
- 事業６：バス・タクシー運転手の確保への支援
- 事業７：総合的な地域公共交通マップの作成・活用
- 事業８：運行情報提供の充実
- 事業９：商業・観光施設や各種団体等と連携した利用促進
- 事業 10：バスに乗ろうデー等の企画・実施
- 事業 11：高齢者バス・タクシー利用助成の推進
- 事業 12：多様なニーズに対応したタクシー活用方策の検討・実施
- 事業 13：公共交通を守り育てる意識の醸成
- 事業 14：新たな公共交通システムの検討・導入